

先行り捜査横行

「共謀罪」

辺野古反対や反原発運動対象に

「共謀罪」の趣旨を含む組織犯罪処罰法改正案は十九日、衆院法務委員会で可決された。審議の中で、政府は一般人は捜査対象にならない、「監視社会」になることはない」と繰り返し説明してきた。だが、現行法の下でも「不当な圍捜査を受けている」「警察に監視された」と訴える声当事者から相次ぐ。すでに共謀罪を先行りするかのような捜査が横行している。（西田義洋、十西哲雄）

■「弾圧」

「まさに共謀罪の先行りを示すような弾圧だった」。共謀罪法案が衆院法務委員会で本格審議入りした四月十九日、東京都千代田区の日比谷野外音楽堂で行われた集会で、沖縄平和運動センターの山城博治議長（左）は「威力業務妨害罪などで公判中」が訴えた。



●集会で五月九日に及んだ拘留を振り返った沖縄平和運動センターの山城博治議長。4月19日、東京都千代田区の日比谷野外音楽堂で。

●集会で五月九日に及んだ拘留を振り返った沖縄平和運動センターの山城博治議長。4月19日、東京都千代田区の日比谷野外音楽堂で。●護憲や反原発運動に取り組んできた船田伸子さんの話を聞く集会の参加者。●9日、東京・永田町の衆院第2議国会館前。



「悪いことをしていないのに、誰かに監視されていて、密告されたいのではないかと恐れ、自由による言えなくなる怖さを感じている。共謀罪のある日常を想像してほしい。安心、安全な社会は得られず、人を疑い合うような嫌な社会が、私たちに来るとはならないか。私は心の自由を手放したくない」と訴えた。

核心

にブロックを積む工事車両の進行などを妨害した容疑などで逮捕され、五月九日にわたり拘留された。山城議長や弁護士によると、警察は山城議長の共犯者として起訴されたの立証で、山城議長の演説に拍手をしていたことや、盛り

込み行動が続く辺野古のゲート前に来ていたことを根拠に共謀を認定。拍手は費同「山城議長からその日のスケジュールの説明を受け、取り調べた検察官は山城議長に「あなたに拍手を送った者、賛意を示した者はすべて共謀なんだ」と自分を追ったという。共謀罪法案が成立すれば、こうした捜査にお墨付きを与えることにもなる。

五月九日に東京・永田町で開かれた共謀罪反対集会には、護憲や反原発運動に取り組んできた岐阜県大垣市の船田伸子さん（左）が参加し、警察から情報収集されている経験を訴えた。二

「危険人物」五月九日に東京・永田町で開かれた共謀罪反対集会には、護憲や反原発運動に取り組んできた岐阜県大垣市の船田伸子さん（左）が参加し、警察から情報収集されている経験

「悪いことをしていないのに、誰かに監視されていて、密告されたいのではないかと恐れ、自由による言えなくなる怖さを感じている。共謀罪のある日常を想像してほしい。安心、安全な社会は得られず、人を疑い合うような嫌な社会が、私たちに来るとはならないか。私は心の自由を手放したくない」と訴えた。

「悪いことをしていないのに、誰かに監視されていて、密告されたいのではないかと恐れ、自由による言えなくなる怖さを感じている。共謀罪のある日常を想像してほしい。安心、安全な社会は得られず、人を疑い合うような嫌な社会が、私たちに来るとはならないか。私は心の自由を手放したくない」と訴えた。

■「危険人物」

五月九日に東京・永田町で開かれた共謀罪反対集会には、護憲や反原発運動に取り組んできた岐阜県大垣市の船田伸子さん（左）が参加し、警察から情報収集されている経験

ように扱われ、自分の生き方を否定された。怒りを感じたと述べた。

二〇一四年七月、大垣市の風力発電計画を巡り、県警大垣署が、勉強会を開いていた反対派住民の情報を事業者の中部電力子会社「シーテック」に漏らしていたことが、事業者側の資料から明らかになった。

船田さんは当時、風力発電に何の意見も持っていなかったのに、資料の中で警察から実名を挙げられ、反対派住民と「強けつなげたい」と指摘されていた。さらに、警察は「そこ